

## 麻酔・手術を受ける患者さんへのワクチン接種の提言

公益社団法人日本麻酔科学会  
理事長 山蔭 道明  
安全委員会

### ○コロナワクチン接種から手術までの空けるべき期間

- 待期手術であれば14日以上空けることを推奨
  - 一般的なワクチン（肺炎球菌ワクチンなど）の十分な抗体産生には1～2週間を要する。したがって、免疫抑制をきたす治療までに2週間を空けることが推奨されている。コロナワクチンも十分な抗体産生に同様の期間を要することから、免疫抑制をきたしかねない手術治療は14日以上空けるべきと考える。
- 待期手術であっても接種後3日目（48時間経過後）に手術は可能
  - 不活化ワクチン同様に、ワクチン接種後48時間経過していれば手術を受けることは可能と判断する。
  - 患者が早期の手術治療を望む場合、この期間を目安に手術治療を考慮してもよいと判断する。但し、①ワクチン接種による発熱などの症状が軽減していることが前提で、②手術侵襲によってはワクチン接種による抗体産生が減少する可能性があることを患者に説明すべきである。
- ワクチン接種後も基本的な感染対策が重要
  - 可能な限り2回以上のワクチン接種をしてから2週間後に手術予定を組む。
  - マスク、手洗い等の基本的な感染対策を維持する。

### ○コロナ感染後から手術までの空けるべき期間

- 待期手術であれば感染確認後7週間空ける（推奨度は低い）
  - 新型コロナ感染症がパンデミックになった初期の世界的なコホート研究で、7週間後に有意に術後合併症・死亡率が減ることから、この期間の推奨がなされている。一方、この研究は重症化が問題となっていたデルタ株が猛威を振るっていた時期であり、対象患者のほとんどがワクチン接種をしていなかった頃の研究であったため、現在の本邦における高いワクチン接種率と重症化の低いオミクロン株の流行時期にはあてはまらないと考える。
- 待期手術・準緊急手術では、全身症状の改善から十分な期間を空けて手術を行う。
  - 軽症から中等症患者では発症から4週間空けることが望ましい。
  - 集中治療を要した患者では12週間空けることが望ましい。
  - これらの期間は手術侵襲、患者状態、感染性などから総合的に判断する。
- 帝王切開術などの緊急手術の場合は、リスクとベネフィットを考慮し、上記の期間をすべて無視することができる。
  - 緊急帝王切開術、解離性大動脈瘤、脳出血、腹膜炎など、患者本人ならびに胎児の生命の危機に直面しており手術療法のみが唯一の救命の方法である場合、新型コロナ感染症の感染の時期に関わらず、手術治療を優先する。医療者は完全な感染対策を施し治療にあたる。

### ○手術からコロナワクチン接種までの空けるべき期間

- 手術後の経過が順調であれば2週間空けることを推奨
  - ワクチンの副反応への体力回復期間を考慮する。
  - 手術治療を含め免疫抑制をきたす治療は、免疫機能の回復に1～2週間を要することから、ワクチンの効果的な抗体産生を期待するには手術後2週間以降にワクチン接種することを推奨する。

## 参考文献

- ・日本医学会連合会 診療ガイドライン検討委員会：COVID-19 ワクチンの普及と開発に関する提言 修正第5版. 2021年7月29日  
[extension://elhekieabhbkmcefcobjddigicaadp/viewer.html?pdfurl=https%3A%2F%2Fwww.jmsf.or.jp%2Fuploads%2Fmedia%2F2021%2F07%2F20210730161541.pdf&clen=540846&chunk=true](https://elhekieabhbkmcefcobjddigicaadp/viewer.html?pdfurl=https%3A%2F%2Fwww.jmsf.or.jp%2Fuploads%2Fmedia%2F2021%2F07%2F20210730161541.pdf&clen=540846&chunk=true)
- ・アメリカ麻酔学会および麻酔患者安全財団合同声明：ASA and APSF Joint Statement on Elective Surgery and Anesthesia for Patients after COVID-19 Infection. 2020年12月8日  
<https://www.asahq.org/about-asa/newsroom/news-releases/2020/12/asa-and-apsf-joint-statement-on-elective-surgery-and-anesthesia-for-patients-after-covid-19-infection>
- ・公益社団法人日本麻酔科学会、日本手術看護学会、一般社団法人日本病院薬剤師会、公益社団法人日本臨床工学技士会、公益社団法人日本口腔外科学会、公益社団法人日本麻酔科学会 (監修)：周術期管理チームテキスト第4版、2021年、公益社団法人日本麻酔科学会、神戸
- ・Abbott TEF, et al. Mortality after surgery with SARS-CoV-2 infection in England: a population-wide epidemiological study. Br J Anaesth 2021; 127: 205-14
- ・COVIDSurg Collaborative; GlobalSurg Collaborative. Timing of surgery following SARS-CoV-2 infection: an international prospective cohort study. Anaesthesia 2021; 76: 748-58